

高津こども文化センターご利用者さまアンケート集計結果

実施期間

2025年10月11日～10月31日

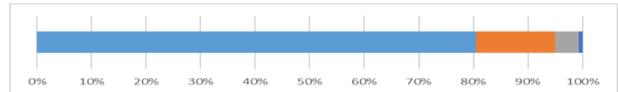
回答数

配布数 165 有効回答数 159 有効回答率 96.4%

集計結果 (単位:%)

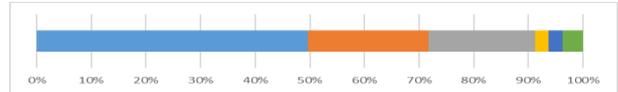
①こども文化センターは楽しく過ごせていますか？

そう思う 80.5 ややそう思う 14.5 どちらともいえない 4.4 あまり思わない 0.0 そう思わない 0.6 無回答 0.0



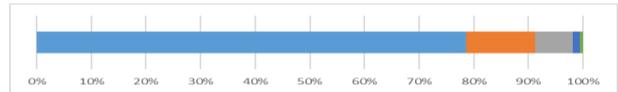
②こども文化センターの行事は充実していると思いますか？

そう思う 49.7 ややそう思う 22.0 どちらともいえない 19.5 あまり思わない 2.5 そう思わない 2.5 無回答 3.8



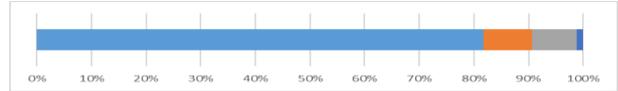
③施設の利用ルールは分かりやすく、安心して利用できますか？

そう思う 78.6 ややそう思う 12.6 どちらともいえない 6.9 あまり思わない 0.0 そう思わない 1.3 無回答 0.6



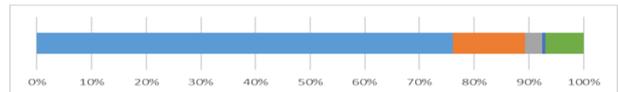
④施設の職員は対応がよく、相談しやすいと思いますか？

そう思う 81.8 ややそう思う 8.8 どちらともいえない 8.2 あまり思わない 0.0 そう思わない 1.3 無回答 0.0



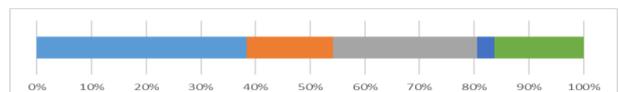
⑤施設の清掃は行き届いていると思いますか？

そう思う 76.1 ややそう思う 13.2 どちらともいえない 3.1 あまり思わない 0.0 そう思わない 0.6 無回答 6.9



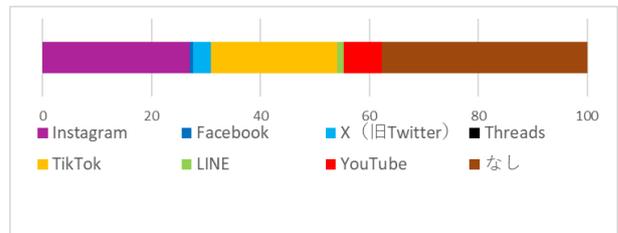
⑥HP・こども文化センター通信はわかりやすいですか？

そう思う 38.4 ややそう思う 15.7 どちらともいえない 26.4 あまり思わない 0.0 そう思わない 3.1 無回答 16.4



⑦一番よく利用するSNSについて教えてください。

Instagram 27.0 Facebook 0.6 X 3.1 Threads 0.0
TikTok 23.3 LINE 1.3 Youtube 6.9 なし 37.7



どのように過ごしているか教えていただけますか？

■乳幼児

乳幼児は「1階のおもちゃ」「2階の児童室(2F)」を中心に、おもちゃ・遊具で遊ぶ利用が大半を占めます。ぬりえや簡単なゲーム、絵本、おままごと、乗り物系玩具など、室内で落ち着いて過ごせる遊びが多く、玩具の貸出を活用して「たくさん借りて遊ぶ」スタイルも目立ちます。

■小学校1年生

マンガやゲームなど、室内での遊びが中心です。また、集会室・卓球室の利用が複数挙がっており、場(部屋)を使って遊ぶことが定着している様子が見えます。「誘われたら遊ぶ」といった回答もあり、友達との関係性が利用行動に影響している傾向があります。

■小学校2年生

読書・マンガが中心で、比較的静的な過ごし方が目立ちます。低学年の中でも「本・マンガ」の比率が高い層といえます。

■小学校3年生

「友達と遊ぶ」「楽しく過ごす」といった回答が多く、集会室やホールで遊ぶほか、ゲーム(スイッチ)、カードゲーム、おもちゃ遊び、読書など過ごし方が多様化します。友達と遊ぶ時間と、ひとりで読書・ゲームをする時間が併存している点が特徴です。

■小学校4年生

集会室・図書室の利用が中心にありつつ、ゲーム、マンガ、カード、トランプ、持参玩具など活動が幅広くなります。屋外では南公園の遊具で遊ぶ等、館外も含めた過ごし方が見られます。一方でYouTube視聴の記載もあり、情報端末を活用した過ごし方も一部に見られます。

■小学校5年生

ドッチボールの回答が非常に多く、身体を動かす遊びの中心層であることがうかがえます。これに加え、集会、読書、マンガ、ゲーム、卓球、野球盤、バドミントン、カードゲーム、シール交換など、運動系と室内活動が並行して行われています。

■小学校6年生

「ゲーム+集会(集会室)」の組み合わせが最も多く、滞在型・交流型の利用が主流です。友達との会話、卓球、マンガ、ボール遊び(天下等)、お菓子を食べながら過ごすといった記載もあり、活動量のある遊びと、ゆったりした滞在が同居しています。スマホ利用の記載もあり、学年が上がるにつれて過ごし方が多様化する傾向が見られます。

■小学校(学年不明)

ゲーム、ボードゲーム、パズル、卓球、マンガ・読書、ボール遊びなど、館内の複数の遊びを組み合わせで過ごしている様子が確認できます。

■中学生

「集会室・卓球・ゲーム」が中心で、カードゲームやボードゲーム、サッカー、勉強・自習、寺子屋利用なども見られます。椅子に座って携帯を見る、ゆっくり過ごすといった“居場所”としての利用も一定数あり、活動型と滞在型が混在しています。貸出おもちゃを活用する回答もあり、年齢が上がっても貸出資源が利用されている点が特徴です。

■高校生・成人

高校生の回答は限定的ですが、成人では「ファミリーコンサート」など行事参加型の記載があります(本設問では日常利用の具体記載は少なめでした)。

こども文化センターでやって欲しい行事はありますか？

■乳幼児

「0～3歳が参加できるイベント」「赤ちゃん向けイベント」など、年齢に合った参加機会を求める声を中心です。あわせて「簡単なゲーム」「ポケモンカード(バトル)」など、親子で参加しやすい内容への関心も見られます。

■小学校低学年(1～3年)

ゲーム大会・スイッチ大会、じゃんけん大会、ぬりえ大会、ババ抜き・マンカラ大会など、短時間で参加できる“大会形式”への希望が多く寄せられています。加えて「お菓子詰め放題」「お祭り」など、イベント性の高い企画への期待も見られます。

■小学校中学年(4年)

かき氷大会、ドッチボール大会、プラバン制作、絵を描くイベントなど、「季節感のある企画」「作って持ち帰れる企画」「身体を動かす企画」への希望が中心です。スタッフに関する要望(絵が欲しい)もあり、職員との交流や“館らしさ”を楽しみにする声も含まれます。

■小学校高学年(5～6年)

クリスマスイベントの希望が複数あり、季節行事への期待が強い傾向です。また、ゲーム大会、ポケモンカード、卓球大会、逃走中、キャラクター系イベント、だがしや等、友達同士で盛り上げられる企画への関心が高い様子が見えられます。特定テーマ(例:トマト祭り)など、独自性のある提案も見られます。

■中学生

「お泊まり(おとまり)」の希望が複数あり、非日常性の高い行事への期待が強く見られます。スマブラ大会、ブロスタ大会、めんこ大会、室外イベントの充実、風鈴づくり、勉強会など、遊びと活動の幅が広いことも特徴です。「お菓子無料」「お祭り」など、参加動機になりやすい要素を重視する声も確認できます。

■高校生・成人

高校生ではジムイベント、ひなまつり、盆踊りなどが挙がっています。成人ではバザー、焚き火、映画上映など、地域交流・家族参加型の企画が希望されています。

こども文化センターに望むことや不満を感じていることがあれば教えてください。

本設問は、感謝・満足の声と、具体的改善要望が併存しています。いただいたご意見を、内容ごとに整理し傾向としてまとめます。

■乳幼児(満足・要望)

日常の遊び場としての満足(「いつも楽しく」「大好きな場所」)
貸出玩具の充実要望(ポケモンカードのデッキを貸出用に)
子育てグループ等の情報掲示の希望(地域情報の見える化)

■小学校1～2年生(備品・利用時間)

遊び道具・マンガの充実、バイブレードの導入希望
マンガを「借りたい」という要望
遊ぶ時間(利用時間)の拡充希望

■小学校3年生(ルール・環境整備・運用)

アンケート回収ボックスの確認要望
イベント増加、遊ぶ時間増加の希望
お菓子を食べる専用スペースの設置希望
自然を増やしてほしいという環境面への意見

集会室への扉設置希望

集会室の利用単位(30分)の見直し要望

図書室の利用ルール(読書専用・静かに)整備の希望

■小学校4年生(施設環境・安全面・備品)

「完璧」「特にない」等の高評価がある一方、遊びの種類を増やしたいという要望も見られます

マンガの増冊希望

イスの設置希望

外遊びイベントの希望

集会室利用後に「足が黒くなる」といった清掃・床環境に関する意見

「変なおじさんが来ないように」等、安全面への要望

■小学校5年生(交流機会・蔵書・遊びの拡充)

スタッフと一緒に遊べる機会を増やしたい

マンガ・本の増冊希望

ミニゲームの増加希望

■小学校6年生(活動量・集会室運用)

スタッフと遊べる機会の増加希望

遊べる場所・ものの拡充希望

集会(集会室利用等)の回数増、利用単位 30分への要望

■学年不明(設備更新)

壊れたラケット・おもちゃの修理、新調(特に卓球ラケット)への要望

■中学生(施設機能・環境・運営)

2階を利用したいという希望

Wi-Fi設置の要望

カードゲームの充実希望

ジム機能の希望

館長対応への要望(より親切に)

施設の狭さへの意見

本(恋愛系)を増やしてほしいという具体的要望

■成人

おもちゃの充実要望

こども文化センター以外でよくいく場所があれば教えてください。

全年代で「公園」が最多で、次いで「家」「友だちの家」「ライフ(商業施設)」の回答が多く見られます。乳幼児では支援センターやショッピングモールの遊び場、夢パーク、他館(例:二子こども文化センター)の利用も挙がっています。

小学生は南公園・北公園・梅林公園・三角公園など近隣公園の利用が非常に多く、放課後の行動圏が公園と家庭・友人宅で構成されている様子がうかがえます。中学生は溝の口周辺、高津スポーツセンター、多摩川周辺など行動範囲が広がり、成人はプール(NAS)やスポーツクラブ、地域活動(いこい・麻雀クラブ等)の回答が見られます。

■ 全体傾向まとめ

乳幼児は館内(特に2階児童室)で玩具・絵本を中心に過ごす傾向が明確。

小学生は学年が上がるにつれて「集会室＋ゲーム(スイッチ等)」が主軸となり、5年生ではドッチボール等の身体活動が特に目立つ。

中学生は「卓球・集会室・ゲーム」に加え、勉強・寺子屋・自習など多目的利用が見られ、“居場所”としての滞在型利用も一定数ある。

希望行事は「大会形式(ゲーム・カード・じゃんけん等)」「季節イベント(クリスマス等)」「非日常(お泊まり)」が人気。

改善要望は、①蔵書・玩具の充実(マンガ、カード、バインブレード等)、②環境整備(お菓子スペース、静かな図書室ルール、Wi-Fi等)、③安全・運用(見守り、集会室運用、修理・更新)に整理できる。

全体として満足の声も多く、日常的に利用される“身近な遊び場・交流拠点”として定着している一方、より快適に過ごすための具体的要望が寄せられている。

今後もいただいたご意見を参考に、より安心して利用できる居場所づくりに努めてまいります。